

日	月	火	水	木	金	土
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
同和教育ミニ集会 (野尻) 社協 福祉サポーター会	あいさつ運動		センター長会			南中学校卒業式
	習字教室		輝らきら体操 (交流)			
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
	稗原まちづくり ビジョン検討会議		童々クラブ (おわりの会)	☕コミカフェ	稗原いきいきクラブ	
しょくどう森々 (交流)		リリーハーモニー	輝らきら体操 (交流)			
15日	16日	17日	18日	19日	20日 春分の日	21日
	耳の聞こえのお話	稗原小学校卒業式		ワックスがけ (ミセ夜間貸館不可) 自治会長会	ワックスがけ (ミセ貸館不可)	ワックスがけ (ミセ貸館不可)
	習字教室	まめな教室	輝らきら体操 (交流)	ワックスがけ (交流貸館不可)	ワックスがけ (交流貸館不可)	
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
ワックスがけ (ミセ貸館不可)	広報配布	幼・小・中修了式		☕コミカフェ		
			輝らきら体操 (交流)			
29日	30日	31日	4月の行事予定 6日(月) 春の全国交通安全運動(～15日(水)) 9日(木) 中学校入学式 10日(金) 幼稚園入園式・小学校入学式 19日(日) 自治協会理事会・代議員会・トキ放鳥地報告会			

※ 上記は、2月中旬時点の予定であり、追加および変更されていることがありますので、ご了承ください。

こーのこらむ

◆ルッキズムという言葉をご存じでしょうか？外見によって人物の価値をはかることをいい、「容姿の良い人物を高く評価する」「容姿が魅力的でない」と判断した人物を雑に扱う」といった、外見に基づく偏見または差別のことを表していることばです。◆ルッキズムとは単なる見た目重視や外見至上主義を指すのではなく、とりわけ雇用や成績評価といった場面で、見た目が(過度に)評価され、機会均等が妨げられるような差別を意味しています。例えば、顔立ちや体型を理由に採用されなかったり、低い評価を受けたりすることは、典型的な見た目差別にあたります。「白人ハーフ顔」を求めて、「蒙古ヒダ」と呼ばれる部位をなくしたり、二重まぶたにしたりする美容整形手術を求める人も少なくありません。◆ルッキズムは単に雇用機会の均等を損なうだけでなく、性差別や人種差別、階級差別を助長しかねないのです。心に潜む差別と見た目・外見からくる差別、どちらも誰にでもあるものだけにそれに打ち勝つ強い心や、ぶれない気持ちをもつことが豊かな社会を醸成する基盤ではないかと考えます。

センター長 高野 正次

集う・学ぶ・繋ぐ コミュニティセンター報

2026
2月号 No.367



稗原地区の世帯と人口

令和8年1月末現在(前月比)
 世帯数 537戸(- 1)
 人口 1,437人(+ 1)
 (男) 711人(± 0)
 (女) 726人(+ 1)

【発行】稗原コミュニティセンター
 TEL 48-0001 FAX 48-0048

✉ hiebara - cc@local.city.izumo.shimane.jp

稗原コミュニティセンター 🔍 検索

祝 西日本初！トキの放鳥地が出雲市に決定！

2月9日に開催された第28回トキ野生復帰検討会にて、島根県出雲市におけるこれまでの取組状況から、本州におけるトキの野生復帰に必要な確認事項が満たされていると判断され、出雲市におけるトキの放鳥計画及びモニタリング計画が了承されました。

これを受け、環境省は、令和9年度上半期中(2027年6月頃)を目処に出雲市にてトキの放鳥を行い、野生復帰事業をすすめていくことを決定しました。

本州では今年、放鳥が決定している石川県羽咋市に続いて2例目となります。放鳥地として稗原地区に決定したことは、大変うれしいニュースです。「稗原に行ったらトキが見られる」「トキが棲むまちで暮らしたい」という稗原にとってプラスの財産になることは間違いのないと思います。それでは、住民は諸手を挙げて喜んでいればよいのでしょうか。

まず、私たちにできることは、説明会でもあったように①冬場のエサの確保のために土水路などの餌場を整備しておく。(冬でもイモリやカエルが棲んでいます。)②地元でのNPO法人を立ち上げ、気運の醸成と環境づくりをしていくような活動をしていく。③トキの特徴を知り、住み着いた場合に、威嚇したりしないで愛着を持って見守る。等が考えられます。

また、説明会では、トキで付加価値を付けた商品開発やブランド米を今のうちから考えておいたらという意見もあります。ブランド米にするなら、何かフィルターを設定し、例えば「無農薬・有機農法で育てた…」という条件などを考えなければなりません。一般農家の「何か米作りに制約がかかるのではないか」という不安に対して「今までどおりで大丈夫」と回答がありましたが、トキに特化するなら、条件をクリアした商品が量的にも安定して供給可能な場合に、ブランド化につながるものと考えます。



放鳥後、トキに「稗原で棲み続けてね！」とお願いしても別の場所に飛んでいくかもしれません。天敵に襲われたり、エサの捕り方が他の鳥たちと比べて劣ったりして個体数が減ったりするかもしれません。私たちはトキが稗原に留まってくれてカップルが成立し、ヒナが誕生していく夢のストーリーを描いています。トキの放鳥がここ稗原地区で複数回に渡って実施され、将来、トキが稗原の空を舞うことを夢見て、決して無理のない範囲で私たちが協力できることをしていきましょう。(文責 高野正次)